

キラめく！鳥羽びと

～鳥羽に生まれ、学び、活躍する～

観光課 ☎ 251157

鳥羽は海にまつわる自然資源や歴史文化をはじめ、さまざまな魅力にあふれています。そんな鳥羽の魅力を地域の資源や人から学び、発信しているキラリ輝く子どもたちや先生たちがいます。今回は、鳥羽高校と鳥羽小学校を取材し、鳥羽ならではの取り組みや成果を紹介します。

鳥羽高校の安田恵理先生が

「令和3年度文部科学大臣
優秀教職員表彰」

を受賞



やすだ えり
安田 恵理

- ・教科 商業科
- ・鳥羽高校勤務平成 24 年 4 月～
- ・地域研究サークル「とばっこくらぶ」顧問

Q このたびは受賞おめでとうございます。率直な感想をお聞かせください。

A まさかの文部科学大臣からの賞ということで、ビックリしたというのが本音です。また、鳥羽高校としても初めての受賞で非常に光栄です。

Q どういった部分が評価されたのでしょうか。

A 今回の受賞は「地域連携」という実践分野から選出していたいただきました。

鳥羽高校は地域と連携した学習を積極的に進めていて、そこが評価されたと考えています。



宮城県立松島高校との学校間交流

ひとつは「デュアルシステム」です。学校設置科目の「社会体験学習」において、地域の宿泊施設などと連携してキャリア教育の充実に取り組んでいます。

それから、クラブ活動の地域研究サークル「とばっこくらぶ」が特徴的だと思います。

生徒自身がフィールドワークなどを通じて地域について学び、ガイドや県内外の大会で鳥羽の魅力を発表してきました。

Q 印象深いできごとやエピソードはありますか。

A 特に思い出深いのは、全国の高校生が企画した観光プランを競い合う「観光甲子園」という大会で、決勝大会に2度出場することができたことです。



文部科学大臣優秀教職員表彰とは？

優れた成果を上げた教職員を表彰する制度で、全国の国公私立学校（大学、高等専門学校を除く）の現職教職員（管理職除く）を対象とした文部科学大臣による表彰です。

令和3年度は全国で812人の教職員と58の組織が表彰されました（表彰式はオンラインにて1月13日に実施）。三重県からは安田先生を含む5人の教職員と2団体が受賞しました。

それから、クラブ活動の地域研究サークル「とばっこくらぶ」が特徴的だと思います。

生徒自身がフィールドワークなどを通じて、気が付けば私自身が鳥羽のまちを大好きになりました。

生徒たちの成長を感じながら、楽しく活動できたことが何よりの財産です。

Q 今後の抱負は？

A 地域のみならずと生徒が一緒にやって取り組んでいくことが基本であり、最も重要だと思っています。芯の部分はこれからもブレずに、継続していきたいと思っています。

鳥羽のみならず、これからも鳥羽高校への応援をよろしくお願いします。



生徒たちと一緒に海女着体験

鳥羽小学校の地域学習

「にぎやかせ!鳥羽」

鳥羽小学校(6年生26人)は、総合的な学習の時間という授業の中で「にぎやかせ!鳥羽」という単元名で九鬼嘉隆や鳥羽の観光に着目し、鳥羽ならではの学習を進めています。

今回は、その中から主な取り組みを紹介します。



光岳寺での学習

学習の成果 子どもたちからのクイズ

鳥羽小学校の児童が考えた九鬼嘉隆に関する「鳥羽っ子クイズ」です。みなさんわかりますか?

レベル1 ★

Q1 九鬼嘉隆が敵と戦うために大型軍船に行った工夫はどれ?

- ①速くするため帆を増やした
- ②鉄をつけて強くした
- ③ピンチになったら海に潜れるようにした



レベル2 ★★

Q2 九鬼嘉隆は「あるところ」に戦いに行く前に賀多神社にお参りました。あるところとはどこ?

- ①インド ②中国 ③朝鮮

Q3 のちに賀多神社にお礼として1,000本の杉の木を植えました。今何本残っているでしょうか?

- ①1本 ②3本 ③5本



レベル3 ★★★

Q4 九鬼嘉隆が豊臣秀吉に頼まれて作り上げた大型軍船の名前は?

- ①「九鬼丸」だ! ②「龍神丸」だ!
- ③「鬼宿丸」だ! ④「おじゃる丸」だ!

豆知識:のちにこの船は秀吉に「日本丸」と改名された



レベル4 ★★★★★

Q5 鳥羽城近くにあるこの橋(左記)は、鳥羽城への陸上での入り口でした。この入り口の名前はどれ。

- ①相橋口門 ②大手水門 ③横町口門
- ④レインボーブリッジ門

豆知識:橋の下に古い石垣が残っている



答え Q1 ②、Q2 ③、Q3 ①、Q4 ③、Q5 ①



鳥羽小学校 尾崎 光さん

鳥羽市に住んでいる人でも鳥羽の歴史を知らない人は多いと思います。地域の魅力を知ることはすごく大切です。ぜひいろんなところに行ってみてください。

担任の廣脇正人先生にインタビュー

Q 授業の目的は何ですか?

A この学習は、子どもたちに将来も鳥羽とつながりをもっていてほしいと考えて進めています。そのために、地域がもつ課題を知り、自分たちには何ができるのだろうと考え、行動することを目指しています。

子どもたちは鳥羽でがんばる人に出会い、鳥羽の歴史を学び、体験を通して、多くのことを学んでいます。

【主な授業内容紹介】

①「鳥羽なかまち」でのフィールドワーク

鳥羽なかまちへ実際に向き、お店のかたにインタビューをし、まちづくりの秘密について調べました。「なかまちマーケット」に自主的に参加した子どもも多く、楽しみながら学びました。市内の6年生に向けて学んだことを伝え、マーケットへの参加を呼び



②九鬼嘉隆や観光についての学習

ゲストティーチャーから「市民が鳥羽について知ることが観光につながる」と教えを受け、武将「九鬼嘉隆」について調べ学習を行いました。

調べ学習では、自分たちが知ることが大切と考え、実際に鳥羽城跡周辺を歩いて調べました。また、校内行事の鳥



羽小フェスティバルではオリジナル曲「錦浦」を太鼓で披露しました。

鳥羽小学校ではこのほかにも動画配信によるPRや鳥羽城跡周辺を散策する「九鬼ロゲイニング」を予定しています。